

OLC+ オアシスライフ・ケア

私たちは、2011年3月11日の東日本大震災を機に
オアシスチャペル利府キリスト教会によって設立された非営利のボランティアグループです。

目次

巻頭言

副代表・國分圭介からの挨拶です。

ページ 1

活動報告

被災地の今...。私たちの支援活動を紹介합니다。

ページ 2-3



団体情報

スタッフや協力団体の紹介、また支援のお願いについて記しました。

ページ 4



巻頭言

わたしは ひとりじゃない

『鉄の扉の中の孤独 — 阪神淡路大震災・20年後の現実—』というNHKドキュメンタリーを見ました。阪神淡路大震災から20年が経った「現在」の問題がテーマであり、震災直後からボランティアとして被災者と関わり続けてこられた「NPOよるず相談室」の牧秀一理事長が主人公です。現在の問題とは「孤独死」。ここ数年、兵庫県内の災害公営住宅（復興住宅）では、年間50人前後が誰にも看取られることなく亡くなっていて、自殺者も少なくないとのこと。20年を振り返って牧理事長は語ります。「街は復興しても、人の心が復興するのは簡単ではない」と。また、東日本大震災の被災地支援にも尽力する中で、「神戸で20年間に起きたことが東北では5年で起きる」とも指摘されていました。

毎月通い続けている南三陸町志津川ではかさ上げ工事が目まぐるしく進んでいます。仙台市郊外には高層の災害公営住宅が建ち並びました。外面的な問題への対応は目に見えて明かになる一方です。だからこそ、「孤独」や「絶望」という内面的な問題にも目を留める必要を感じます。「孤独」とは絆が絶えること、「絶望」とは希



神である主は仰せられた。「人が、ひとりであるのは良くない。...」

旧約聖書・創世記より

望が絶えることです。お金やモノが断絶を満たす解決とはなり得ないことを『20年後の現実』は裏付けています。

オアシスライフ・ケアは、「キリスト教精神に基づく支援活動を行い、人々の心と人生に『あなたはひとりじゃない』というメッセージを届けること」を使命に活動し続けてきました。実は、携わるスタッフやボランティアの多くが、それぞれの人生において

「孤独」や「絶望」を体験した一人ひとりです。そして、神さまとの絆の回復によって、孤独から脱したり生きる希望を見い出したりした一人ひとりでもあります。自身の心と人生に届けられた「わたしはひとりじゃない！」という確信と実感が原動力なのです。働き自体には拙さが多々あります。悩むことも落ち込むこともありますが、それでも「わたしはひとりじゃない」のです。

その確信を握りながら今年度も南三陸町や東松島市での活動を継続します。以前と比べて頻度は減りますが、革細工やゴスペル、スポーツをきっかけとした交流が中心です。関わりを通して「あなたはひとりじゃない」というメッセージが届けられることを願います。変わらぬ応援に感謝申し上げます。東北の地に命あふれるオアシスを！

オアシスライフ・ケア 副代表 國分圭介

SHIZU革

3名のボランティアが働きを卒業

卒業シーズンでもある三月、SHIZU革では「卒業お茶っこ会」が行われました。卒業したのはボランティアスタッフ三名（主婦二名、男の子一名）です。三人には、プロジェクト発足当初から陰に日向にSHIZU革を支えていただきました。企画や製作指導、ラッピングやタグ付けなどの面でも助けていただきましたが、志津川のお母さん方にとっては“一緒にお茶っこすること”が何よりも嬉しかったようです。生後八ヶ月の頃からSHIZU革に参加している男の子は、「何かお手伝いすることない？」と買ってでるまでになりました。プロジェクトが始まって三年半。月日の流れを実感します。志津川のお母さん方が持ち寄った「おふくろの味」を味わいながらの節目のお茶っこ会。感謝と涙にあふれるひと時となりました。新年度からはそれぞれの進路で邁進です。もちろんSHIZU革を覚え続けながら。本当に「お仕えさま」でした！



新作「高貴」が好評販売中！

SHIZU革の新作「高貴」は、特徴も（価格も）従来とは大きく異なるブレスレットです。メタルチャームには「2011.3.11」を刻印しました。シンプルなデザインと控えめなチャームによって、ブレスレットに込められた「意味」が引き立てばと願っています。革紐をスライドすることで長さの調整も可能な男女兼用のフリーサイズです。

SHIZU革公式サイト www.shizugawa.jp



お茶っこ会を継続的に開催しています！

震災からちょうど丸4年の3月11日、津波の被害が酷かった東松島の大曲浜には、たくさんの青い鯉のぼりが揚げられました。震災を忘れないために...という思いを込め、地元の方々が主催しているイベント“青い鯉のぼりプロジェクト”に私たちも参加させていただきました。被災された方々と心を合わせ、慰めと復興のために祈りを捧げ、寒さ厳しい季節の野外イベントに来られた方々のため、ささやかながら温かい飲み物をお配りさせていただくことが出来ました。また、同月末には浜で被災された方々の暮らす矢本運動公園仮設住宅コミュニティでお茶っこ会の時をもちました。震災以来、継続的な関わりを持たせていただいていることもあって、仮設の皆さんとはすっかり顔なじみになり、集会所は会が始まる前からお茶の間のようないアットホームな雰囲気にも包まれていました。支援者・被支援者から始まった関係ですが、今では家族のような安心感があって、お互いの顔を見ることに喜びを感じることも出来る親密な関係になってきました。



普段は教会のゴスペルクワイアと一緒に訪ね、音楽を通じた触れ合いの時間を持っていますが、今回は教会の若者（中・高・大学生）たちと一緒におじゃましました。このコミュニティにはご高齢の方が多いため、孫世代である若者たちの訪問をととても喜んでくださいました。「ほら、お菓子食べらいいん！！」「ここに座らいいん！！」と歓迎して下さった皆さんの満面の笑みが印象的でした。レクリエーションとして「方言クイズ」を行なったのですが、東北弁に関する問題では、出題者の若者たちが逆に教わってしまうというハプニングも起こり、一緒に大笑いしながら楽しいひと時を過ごすことが出来ました。「あ～笑った！！」と、心の底からスッキリした様子で帰って行かれる皆さんの姿を見ながら、初めてこの場所を訪ねた時のこと、皆さんの表情や様子を思い起こしました。4年間という時を経て、少しずつですがこのコミュニティに笑顔が戻ってきていることを感じています。仮設住宅での生活がまだまだ続く皆さんの日常の中に、さらに笑顔があふれていくことを願い、これからも支援を越えた親密な関わりを続けていきます。

「スポーツを通じたケア」がスタートしました！

仮設住宅に住む方々を対象に、スポーツや体を動かすレクリエーションを提供するプログラムがスタートしました。仮設住宅の皆さんとお話しする中で「運動をする機会が中々ないのが悩み」「どうしても仮設に閉じこもりがちになってしまう...」という声が聞こえてきました。体育大学出身のスタッフ菊地と運動が大好きな若き宣教師ダン・ブラウン（オアシスチャペル所属）とで、このプログラムを実施し、仮設住宅の方々に体の健康と心のリフレッシュを提供することを目指しています。応援、よろしく願いいたします！



ご協力をお願い

皆様からのご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。私たちは今後も、復興のために、長く、効果的な働きを続けていきたいと願っています。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

支援金窓口

《ゆうちょ銀行》

- ・他金融機関より
店名：八一八（読みハチイチハチ）
口座番号：普通 4130375
口座名：オアシスライフ・ケア
- ・ゆうちょ銀行より
記号：18110 番号：41303751
口座名：オアシスライフ・ケア

※ 定期的に発行しているニュースレターをご希望の方は、お手数ですが当方までご連絡ください。

※ 過去の活動レポートは当方のウェブサイト上で閲覧いただけます。

(<http://oasislifecare.org>)

関連情報

スタッフ

松田牧人（代表・オアシスチャペル利府キリスト教会 牧師）
國分圭介（副代表・SHIZU革 担当）
郡山英明（専任・会計 担当）
松田 献（専任・音楽、カフェを通じたケア 担当）
三浦良太（専任・Camp Morigo 担当）
菊地祥彦（スポーツを通じたケア 担当）

連絡先

事務所：宮城県宮城郡利府町中央2-5-1（利府キリスト教会内）
TEL&FAX：022-356-2494（利府キリスト教会と兼用）
※SHIZU革に関するお問い合わせは 022-356-9443 へ
E-mail：info@oasislifecare.org

Webサイト

Webページ：<http://oasislifecare.org>（日本語 Japanese）
<http://en.oasislifecare.org>（英語 English）
Facebookページ：<http://www.facebook.com/OasisLifeCARE>

賛同者

尾山清仁・キャシー（聖書キリスト教会東京教会・牧師）
加賀洋子（ASKアカデミー・ジャパン株式会社 CEO）
葛西浩二（有限会社テレビジョンワークス・代表取締役）
Kaz Kato（ミュージシャン）
合田隆史（尚綱学院大学 学長）
郡山榮次郎（心療内科医）
後藤献児朗（有限会社サーブ介護センター 代表取締役）
篠田真宏（ゴールデンルールリミテッド・代表）
ジェイソン・エワート（作家・Australian of the Year nominee 2007）
中村佐知（翻訳者／心理学者〈Ph.D.〉／JCFN理事）
日野 哲（東北学院大学・理事）
広崎仁一（ヒューサーブ代表）
藤掛 明（聖学院大学総合研究所・准教授／臨床心理士）
藤原淳賀（聖学院大学総合研究所・教授／恵約宣教教会・牧師）
松田和憲（関東学院大学工学部・教授／関東学院教会・牧師）
渡邊忠雄（元 東北大学大学院工学研究科・教授／中国 <瀋陽> 東北大学・客員教授）

協力団体

一般社団法人 CRASH Japan www.crashjapan.com
一般社団法人 サマリタンズパース www.samaritanspurse.jp
NPO法人 音楽で日本の笑顔を smile-chorus-ngo.org
宗教法人 日本バプテスト同盟 www.jbu.or.jp
聖書キリスト教会東京教会 seishokirisuto.com
Bridges For Peace JAPAN www.bfpj.org
ホープみやぎ www.hopemiyagi.org

※50音順／敬称略／2015年5月15日現在